

(別紙) 評価基準

項番	【項目１】 広報内容の評価	配点	
1	提案内容の妥当性・独創性	40	10
	目的に合った提案がなされているか ・仕様書記載の業務内容についてすべて提案されているか ・事業目的・実施方針を理解したうえで、企画が提案されているか ・斬新な工夫など特筆すべき点があるか など		
2	企画力		10
	訴求ポイントを的確、適切に表現しているか ・伝える情報が明確であるか ・容易に大意をつかむことができるものになっているか ・ビジュアル（見た感じ）が目を引きか ・県民が興味を持つような工夫があるか ・県の広報に相応しい品位があるか など		
3	クオリティ		10
	映像作品として洗練されており、 優れた品質を有しているか （以下の項目の品質や全体バランス） ・背景、図表、フォント、色彩、イラスト ・写真、動画、画質 ・音楽、音質 など		
4	ユニバーサルデザイン		10
	ユニバーサルデザインに配慮されているか ・字の大きさ、色使い、音声、手話 など ・字幕を読みやすく入れているか （画面の切り替えのタイミングや要約など）		
【項目２】 実施体制等の評価			配点
5	類似業務実績	50	10
	過去５年間に、 佐賀県関係機関や民間企業の映像制作に関し、 優れた実績を残しているか		
6	実施体制とその考え方		15
	類似業務の実績がある等業務遂行能力のある統括責任者を 設置しているか。また、実施体制、要員の役割、実績、考 え方等の説明が記述されており、その体制等は適切か		
7	専門知識・適格性		15
	映像制作や県の施策に関する幅広い知識・知見を持ってい るか		
8	人材確保		10
	要員を確保し、実施体制を構築することができるか		
【項目３】 経費の妥当性			配点
9	適正な予算配分	10	10
	見積額は妥当か ・内訳の額が不自然ではないか、安価であるか など		
合計			100

※最優秀提案者となることができる最低基準点は、合計点の６割とする。